

月

2024.4

Vol. 10

GOVERNOR'S
MONTHLY LETTER

信



©SASEBO

三浦岸壁

2023-2024年度
国際ロータリー第2740地区
ガバナー 緒方 信行



世界に希望を生み出そう

2023 - 24 年度 国際ロータリーのテーマ



世界に希望を生み出そう

index

ガバナーメッセージ.....	1
2023-2024年度 米山記念奨学生修了式	3
第3グループIMのご報告	4
第4グループIMのご報告	5
第5・第6グループ合同IMのご報告	6
第9・第10グループ合同IMのご報告	7
北松浦ロータリークラブ55周年記念式典をおえて	8
「ロータリーの友」ご寄稿のお願い.....	9
2024-25年度 2740地区 地区補助金管理セミナー報告.....	10
2024年1月会員数・出席報告	12
新会員紹介.....	13
寄付者紹介.....	13
私の国際大会・編集後記.....	裏表紙

表紙説明 「三浦岸壁」

佐世保港国際ターミナル前面にある三浦岸壁(水深10メートルの耐震強化岸壁)は、16万トン級の船が接岸可能となっている。国際フェリーや大型クルーズ船の寄港に合わせ、マーチングバンドによる演奏やよさこいチームによる演舞等、歓迎セレモニーが行われる。

Governor's Message



ラストスパート

2023-24年度 第2740地区 ガバナー 緒方 信行

2023-24年度も残り3か月となりました。年次目標達成のラストスパートの時です。せめて当年度地区目標の再確認をして頂きたいと思い、ガバナー月信第8号と第9号にわたって、公式訪問のスライド原稿を掲載させていただきました。

公式訪問での卓話を思い出された方も多いと思います。クラブ会長、幹事、クラブ委員長の方々が、私が掲げた「8つの重点項目」を自クラブでどの程度実現できたか？6月のクラブ協議会の参考になれば幸いです。

ところで、2月からIMが開催されています。8つの重点項目のうちの1つ、全グループでの「IMの開催」が、ガバナー補佐の皆さんと担当クラブの皆さんのご努力によって実現することができました。

IMはグループで開催されるミニ地区大会です。ロータリーの研鑽と親睦を目的にクラブ間の親睦を図り、自クラブの改革の参考とする絶好の機会です。

今年のIMでは初めての試みとして、恒例のガバナー挨拶を省略して、グループの現況を発表することとしました。他グループとの比較を行い、グループ活性化とクラブ改革をするための参考資料とするのが目的です。ガバナー月信の第7号に掲載しました「第2740地区現況報告」を今一度、ご

確認頂き、同じグループのクラブ間で、他グループと比較したグループの現況について、協議の議題としていただけたら幸いです。

1月、米国オーランドでの国際協議会が始まってすぐにMy Rotaryで発表される次年度RI会長のテーマがどんなテーマか、私はいつものように、興味深々で待っていました。「The Magic of Rotary」に次いで「**継続と変化のバランス**」が掲げられました。私はびっくりしました。私の地区目標「**継続と革新の理想的なバランス**」とそっくりだったのです。

ステファニー A.アーチックRI会長エレクトは次のようにそれを説明しています。

「私たちは、バランスを取るという難題に直面しています。自分たちを変えつつも、自分たちの真の姿に忠実であり続けなければなりません。これは、皆さんの地区でのやり方を変えることを意味するかもしれません。地区が過去50年間に同じ方法で物事を行ってきたのであれば、おそらくそれを見直す時が来ているでしょう。地区内のクラブが活発に活動していない場合、または会員が減っている場合、地域社会にもっと合った新クラブを結成する時が来ているかもしれません。クラブや地区が長年変わっていないからといって、誰も変化を望んでいないわけではないわけではありません」。

まさに私が4年前から継続すべきことと、改革すべきことを考え続け、この一年の地区方針に掲げたことを思い出しました。具体的には、衛星クラブ設立、公共イメージ (One Q-Shu)、ロータリー・ファミリーの活性化、デジタル化による情報共有、RLIの推進、D.E.I.推進、RYLAの改革などです。これらが国際ロータリーの流れと一致していたことを確認できました。同時に、私がエレクト年度から秘めてきた“想い”が現在の国際ロータリーの方向性と方針がずれていなかったことがわかり、ほっとした思いです。

ただ、私自身が現実的に直面せざるを得なかった“体調不良”のために当惑し、地区内のクラブの皆様一人一人にこの“想い”を直接届けられなかったことは悔恨の念に堪えません。しかしながら、第2740地区全ロータリアンの皆様が私の苦悩に寄り添ってくださり、ご辛抱頂きながら、私の地区運営方針、8つの重点項目を確実に実行して頂いていることは、この年度が少しも停滞した1年ではなかったことの証ではないでしょうか。地区のロータリアン一人一人が声を上げ、変革を進めて頂いたことに深く感謝申し上げる次第です。

2月18日から、次年度に向けた3大セミナーが始まりました。そこで、2024-2025年度のRI会長テーマと、石坂ガバナーエレクトの地区目標と方針が詳しくご披露されました。私の“想い”も、RI会長エレクトのテーマも、石坂年度ではさらに大きく実現されることでしょう。石坂ガバナーエレクトのマジックに対する期待で胸が膨らみます。



ステファニー A. アーチック氏

(米国ペンシルバニア州、マクマリー・ロータリークラブ所属) が、会長指名委員会により国際ロータリーの2024-25年度会長に選ばれました。

2023-2024年度 米山記念奨学生修了式

米山記念奨学委員会 委員長 松田 洋一

第2740地区の本年度の米山奨学生の修了式は2024年3月2日(土)に、諫早L & Lホテルセンリュウにて開催されました。全奨学生5カ国と1地域15名の内、9名が今年度修了し、就職・進学・帰国などの進路をとり、いろいろな世界へ羽ばたいていきます。

当日は14時に奨学生が集合、15時より受付開始、15時30分より諫早北ロータリークラブ事務局の森りつみさんの司会により式が開始されました。

出席者紹介のあと、千葉副ガバナーからお祝いの言葉を頂き、その中で語られた日本人の心については修了生も得るものがあったのではないのでしょうか。

それから、駒井米山記念奨学会常務理事より修了生に修了証と記念品が、花島米山記念奨学会評議員よりカウンセラーに感謝状が渡されたあと、米山記念奨学委員長挨拶、そしてアメリカ・リズキー学友会会長より、今後修了生が入ることになる学友会の紹介を経て、第一部の修了式を終えることができました。

第二部の歓送会は写真撮影を済ませたのち17時より同会場にて行われました。司会進行は地区委員の水頭さん。石坂ガバナーエレクトの乾杯の後、歓送アトラクションとして、第一部の司会をしてくださいました森りつみさんの演歌ショー、ジミー渡辺さんによるカントリーミュージックショー、そして、6名の継続学生による歌と踊りが披露され、会場も大いに盛り上がりました。

その後の歓送会終盤の修了生とそのカウンセラーのスピーチでは、一組あたり5分の持ち時間に対してほとんどの方が時間オーバーしましたが、この期間が奨学生、カウンセラーにとって、どれだけかけがえないものであったかが伝わってきました。

最後に駒井米山記念奨学会常務理事より総評及び贈る言葉を賜り、予定を少し越えた19時過ぎに閉会となりました。

今回修了した9名の米山奨学生への支援はこれで終了しますが、お世話クラブそしてカウンセラーとの繋がりがなくなるわけではありません。また、学友会を通じてロータリークラブとの関わりも続いています。米山奨学事業はこのように、ロータリークラブの使命、理念を分かち合える仲間を増やすことができる大切な事業です。今後とも皆様のご支援ご協力をお願いいたします。



第3グループIMのご報告

鹿島 RC 会長 平川 直樹

去る3月16日(土)、千葉副ガバナー、第3グループ植松ガバナー補佐、村瀬地区幹事、浜松ハーモニーロータリークラブ安間みち子様の4名をお迎えし、また第3グループから100名弱のロータリアンが参加のもと、鹿島市の祐徳稲荷神社境内の「参集殿」にて2023-2024年度第3グループインターシティミーティングを開催いたしました。

第一部の式典では、国際ロータリー会員増強委員でもあられた浜松ハーモニーロータリークラブの安間みち子様に「世界に希望を生み出そう～ROTARY NOW～」をテーマに基調講演をいただき、RIのテーマの一つである「エンドポリオ」について、また会員増強における現在の問題点と他の地区での事例、その取り組み方について非常に分かりやすくお話しいただき、今後の会員増強に向けて大変参考になる内容で、出席したロータリアンの皆様の理解も深まったと思います。

第二部の市内にある割烹「清川」にて行われた懇親会では、酒処鹿島らしく、乾杯のお酒の銘柄当て5択クイズ、さらに鹿島市浜町振興会様のご協力のもと、市内酒蔵の6銘柄を揃えての利き酒コーナー、また浜地区を中心に活動されている「浜ガール」による南京玉すだれや千葉副ガバナーや講師の安間みち子様も飛び入りで参加されたダンスなどの企画で大いに盛り上がり、互いの親睦を深め楽しい時間を過ごすことができました。

最後に、ご出席いただいたご来場の皆様、また、第3グループのロータリアンの皆様のご協力により無事IMを開催できましたことを心より感謝申し上げます。



第4グループIMのご報告

伊万里RC IM 実行委員長 田中丸 治樹

2月10日土曜日に第4グループIMがロイヤルチェスター伊万里にて盛大に開催されました。当日は隅田パストガバナー、辻ガバナーノミニーおよび村瀬地区幹事、他100名を超える多くのロータリアンにご出席頂きました。また、今回のIMは、新型コロナが収束し、久々に、従来どおり懇親会も執り行われました。

今回のIMテーマは「ロータリー不易流行」

「不易」：変えてはならない本質

「流行」：時代に合わせて変化していく

また、2つの公式標語・「超我の奉仕」・「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」を掲げました。そして、RI2680地区 安平和彦パストガバナーによる基調講演「日本のロータリーの発展と停滞」と題して、奉仕哲学についてご講演頂き、ロータリーの本質を学びました。

懇親会では、各クラブの取り組み、オンライン例会、衛星クラブについて情報交換をし、交流を深めました。アトラクションでは佐世保キャンディーズのパフォーマンスで大いに盛り上がり、親睦が図られました。

最後に、今回IM開催にご協力いただいたホストクラブ（伊万里RC）および、コ・ホストクラブ（伊万里西RC）会員の皆さまのご協力に深く御礼申し上げます。



第5・第6グループ合同IMのご報告

佐世保西 RC IM 実行委員 樋口 聡子

2024年3月8日午後6時より、RI第2740地区第5、第6グループによるIMを、佐世保東ロータリークラブと佐世保西ロータリークラブをホストクラブとして、ホテルフラッグス九十九島にて開催いたしました。

IMが会員相互の親睦と知識を深めることを目的とする会合であることから、今回のIMは、「ロータリーの原点を見直そう」をテーマに、会員同士が知り合える有効な機会となるようにと、互いの親睦を深めることに重点を置きました。

まず、開会式では、ご体調の優れないなか駆けつけてくださった緒方信行ガバナーにご挨拶いただきました。続けて、佐世保ロータリークラブの福田金治パストガバナーに「IMの歴史について」というテーマでご講演いただき、IMの前身ともいえるIGF (Intercity General Forum) から参加されていらっしゃる福田パストガバナーの長年のご経験に基づく貴重なお話を拝聴いたしました。

その後、懇親につなげるためにアイスブレイクを行いました。ご来賓の方々にもご降壇いただき、入会歴や年齢を問わず、ご参加いただいた会員全員が相互に声をかけあって交流を図るという、非常に和気あいあいとした活気あふれる時間となりました。

懇親会では、アイスブレイクで上位になった方や入会3年未満の新入会員の方にご挨拶をいただいたり、アイスブレイクの際にやり取りをした他クラブの会員の方等と名刺交換をして会話を楽しんだり、日頃面識が少ない他クラブの会員と知り合える有効な場となりえたのではないかと存じます。

このたびのIMを盛況のうちに終えることができたのも、緒方信行ガバナーをはじめ、千葉憲哉副ガバナー、村瀬高広地区幹事、そしてご参加いただいた会員の皆様のおかげです。この報告をもちまして御礼の言葉にかえさせていただきます。



第9・第10グループ合同IMのご報告

第9グループガバナー補佐 **天本 俊太**
 第10グループガバナー補佐 **友永 修一**
 IM 実行委員長 **柿川 純正**
 ホストクラブ会長(長崎東RC) **中島 健太郎**

令和6年3月3日(日)、国際ロータリー第2740地区第9・第10グループインターシティミーティングが、長崎東ロータリークラブをホストクラブ、長崎中央ロータリークラブをコ・ホストクラブとして、長崎市の平安閣サンプリエールにて開催され、無事に終了することができました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、徐々にコロナ禍前の平常が戻りつつある中、多くのご来賓、並びにロータリアンをお迎えして、盛大に開催することができました。

第1部では、基調講演として2023-2024年度国際ロータリー会長代理 四宮孝郎様をお招きし、「変えてはならないロータリー・変えなければならないロータリー」というテーマでご講演いただきました。四宮様のこれまでのロータリアンとしてのご経験をもとにした大変貴重なお話を伺い、ロータリークラブの在り方、ロータリアンとしての喜びを改めて考える意義深いものとなりました。

引き続き、記念講演としてシーズアスリート所属・ゴールボールシニアアドバイザー浦田理恵様にご登壇いただき、「逆境をチカラに変える～小さな積み重ねと感謝の習慣～」というテーマでお話をいただきました。パラスポーツ普及をはじめ様々な活動に携わる浦田様ですが、自身も全盲である彼女がその困難に負けない姿勢を拝見し、感銘を受けるとともに、ロータリアンとしてできることは何かと自問する契機となったのではないかと思います。

第2部では、立食スタイルの懇親会にて、久しぶりの再会を祝い合い、多くの皆さんの笑顔溢れる親睦の場となりました。また、ゲストとして歌手のタナカハルナさんをお招きしたライブを企画し、ご好評をいただきました。

最後に、今回のインターシティミーティング開催に際して、多大なるご協力をいただいた第9・第10グループの皆様に感謝を申し上げて報告とさせていただきます。



北松浦ロータリークラブ 55周年記念式典をおえて

北松浦RC 会長 永安 久幸

令和6年3月9日、佐世保市吉井町 サンパーク吉井にて、北松浦ロータリークラブ創立55周年記念式典を無事開催することができました。ご多忙な中、地区副ガバナー 千葉憲哉様、地区幹事 村瀬高広様、第5Gガバナー補佐 井上正人様、平戸RC 瀧下孝会長、山下剛幹事様、松浦RC 上村幸四郎会長、青崎秀雄幹事様に来訪いただき、盛大に挙行することができました。ありがとうございました。

また、開催にあたりご尽力いただきました、松尾清治実行委員長はじめ各委員の皆様には厚く御礼申し上げます。式典におきましては、長年無欠席を続けられてきた6名の会員の表彰が行われ、また、来賓の皆様からは温かい祝辞を頂戴いたしました。国際ロータリー第2740地区の多くのロータリアン、近隣クラブのロータリアンの皆様と、長くともに歩んでこられたこと、そしてこの先も、“未来永劫”ともに歩むことができることを深く感謝いたします。ありがとうございます。

さて、式典終了後には、懇親会が開催されました。ここにおいても、我北松浦RCの親睦の精神が十分に発揮された、非常に和やかな雰囲気での懇親会が進行してまいりました。にぎやかで和やかな雰囲気ではあるのですが、その中においても品があるといった感じの懇親会であったように思います。そして会の熱気が最高潮に差し掛かったころ口惜しくも終演の時間が迫り、やむなく『手に手つないで』となったわけです。ここでも北松浦RCならではのパフォーマンスが披露されました。おそらく他では絶対目にする事ができないような、藤原純廣ソングリーダーによる名タクト振りが披露されました。ブレイクダンス風タクト振りと表現できるような藤原純廣次期会長のタクトによる『手に手つないで』は、参加者の心をなごませ、大きな声を出させるような不思議な効果があると思います。しかしながら、多分当クラブ内でのみのパフォーマンスと思われるので、少し残念な気がします。見てみたい方はぜひ当クラブの懇親会へご参加ください。歓迎いたします。

最後に、北松浦ロータリークラブ55周年記念式典、懇親会にご参加いただきました皆様には厚く御礼申し上げます。同時に皆様のご健康ご多幸を祈念いたします。そして今後も、ロータリーの理念を共有し、共に奉仕の精神を体現することで、より良い未来への道を切り拓いていきたいと思います。共に手を取り合い、地域社会と、ロータリークラブのために行動しようではありませんか。誠にありがとうございました。



「ロータリーの友」ご寄稿のお願い

『ロータリーの友』にご寄稿してみませんか？『ロータリーの友』には、あなたのロータリークラブの活動、地区、インターアクト・ローターアクトクラブや衛星クラブの奉仕活動を投稿する「ロータリー・アット・ワーク」というコーナーがあります。是非、あなたのロータリークラブ等の魅力的な活動を全国のロータリアンにご紹介ください。

ロータリー・アット・ワーク

ロータリークラブ、地区、インターアクト・ローターアクトクラブなどの奉仕活動を写真とともに紹介。活動後1ヵ月以内にご投稿ください。写真は記念撮影以外で、活動内容の分かるものをお送りください。

原稿：150～600字ほど

写真：1～数点（掲載は1点）



このままでといなくなってしまう！

豊橋ゴールデンロータリークラブ
第2760地区・愛知県

2022年11月6日、年間来園者が90万人を超える豊橋総合動物公園で、環境保全のための啓発活動を実施しました。来園した市井や子どもたちに、絶滅危惧種の動物について知ってもらおうと、種の保全を図る啓発を兼ねました。

1年ほど前、絶滅危惧種の啓発を行う佐々木シェフが広報で相談。人気のある動物は、実は絶滅危惧種であること。要因は人間で、例えばオランウータンのすむ森は、アブラコシの畑にするために伐採され、すむ場所が奪われていることを学びました。「今の環境を変えられるのは人間だけ。まずは動物の真実を知るところから始めよう」という佐々木氏の言葉が、本活動を企画するきっかけとなりました。

看板には国際自然保護連合(IUCN)による評価基準、深刻な危機(CR)・危機(EN)・危急(VU)などを記載。その他、園内

ひとり親困窮家庭に食料支援

和歌山アゼリアロータリークラブ
第2640地区・和歌山県

長引くコロナ禍で給料の減少や失業といった状況に置かれている人がいます。そこで、クラブでは前年度、特に乳幼児から高校生までの子を持つひとり親の家庭に、食料を支援しようと思いましたが、感染拡大を受け、実行を断念せざるを得ませんでした。

当クラブの奉仕の原点は地域ファースト、地域が実需に見舞われるなど、災厄が降りかかった時には、何を置いても人々に手を差し伸べなければなりません。その理念の下、今年度はクラブ創立25周年の記念事業として予算を増やし、改めてひとり親の困窮家庭にスポットを当ててまいりました。

具体的には新米3リ(一家庭につき当クラブは今年度、地区補助金事業5ヵ月に稼働、シトルカシュー、図書券なども加え、毎月500円程度を60セット用意しました。まずは和歌山市に広域をお願いし、児童扶養手当の更新に来られるひとり親家庭の方に向け、受付の時に引換券付きチラシを置かせてもらいました。食料の運び込み、袋詰め作業など、10月8～11日の手渡し日に向け、クラブが一丸となって準備に努めました。



ロータリーの友 2020 VOL.68 NO.8

原子燃料サイクル施設を視察

岩内ロータリークラブ
第2510地区・北海道

クラブの所在地が、高レベル放射性廃棄物の最終処分場として文献調査が行われている2町村のちょうど中央に位置していることから、昨年8月、NUMO(原子力発電環境整備機構)関係者による視察を実施。その場で青森県の六ヶ所原子燃料サイクル施設を訪問、視察によって視察の理解が深まり、貴重な体験となった。(11月14日)



ロータリーの友

鹿児島三大行事・妙円寺詣りに参加

伊集院ロータリークラブ
第2730地区・鹿児島県

伊集院町妙円寺詣りでの、武者行列保存会による恒例行事、武者行列「妙円寺詣り」が3年ぶりに行われ、会員も参加した。10月22日夕方、火のたかれた参道を通り、妙円寺(円・徳重神社)を参拝後、大町役の東清海会長が参道に上がった。戦国大名、島津義弘をしのぶ行事とあって、鹿突(よしかぶた)を着けた参加者も多量。翌日、会員も陣羽織姿、クラブののびりを掲げロータリーをPRしつつつとまた共に行進した。

令和2年8月号

連絡先

国際ロータリー第2740地区ガバナー事務所
ロータリーの友地区代表委員 小西研一宛
TEL：0956-80-3148 FAX：0956-80-3164
E-mail：ri2710ogata@@beatsc.jp

2024-25年度 2740地区 地区補助金管理セミナー報告

補助金委員会 委員長 西川 義文 (大村 RC)

次年度、2740地区補助金管理セミナーを2月4日に、大村市にある長崎インターナショナルホテルにて開催しました。

会場には、各クラブより次年度会長やロータリー財団関係委員長等と地区役員、ロータリー財団委員会委員 計100名程が集まり開催されました。

開会式、役員挨拶の後、各クラブが申請する次年度地区補助金申請要項が発表されました。

主な変更点内容は、①プロジェクトの費用＝クラブ40%＋地区補助金60%で予算を組むようになりました。

また、地区補助金の上限額は30万円が上限額となり、各クラブからの申請期間は5月15日までです。

但し、地区委員会で特に優良と認定された事業については、クラブ自己負担額を変更する場合があります。

- ・内容が地区補助金申請の基準を充たしていない場合は、修正申請か取り下げとなります。
- ・最終的な補助金額は財団本部で承認され、送金された時点の為替レートにて決定されます。
- ・申請クラブ数が多い場合、または予算額過多の時は、希望通りの決定額にならない場合があります。
- ・実際の活動において予算よりも支出が大きくなる場合、クラブ負担で賄うことは問題ありません。

②地区補助金の申請基準

- ・内容は、地域的に重要と考えられる人道的、教育的活動、また地域活性化を語る事業が望ましいです。
- ・プロジェクト内容は、ロータリーが主催するものでお願いします（協賛は不可となっております）。
- ・募金や募金に関わること、ロータリーの宣伝や広告に関わることは認められていません。
- ・前年度と同じプログラムは2回連続で申請できません。年度毎にテーマや受益者を変えて実施してください。
- ・クラブは補助金管理セミナー（D2740地区）への出席と、MOUの地区への提出が前提条件となっております。
- ・直接クラブのロータリアンが参加できるようにプロジェクトを計画してください。
- ・プロジェクトの実施は**2024年9月～2025年5月15日の期間中**でお願いします。
- ・プロジェクトの実施後は報告書が必要になります。活動状況の写真、領収書など準備をお願いします。
- ・余剰金が発生した場合には、返金の義務があります（追加の書類が必要となりますので個別に対応します）。

以上の内容が説明されました。

引き続き、財団奨学・学友小委員会より地区補助金奨学・グローバル補助金奨学について、説明がなされました。

ここ数年、財団奨学生の応募が多くなり、担当委員会は財団本部への申請や報告等により大変多忙な状態となり、時間の掛かる派遣国ロータリークラブや地区との交渉もあり、応募者をサポートする担当奨学委員は苦慮しています。そのような中でも今年度は、ポルトガルのリスボン大学へ地区補助金奨学生と英国のロンドン大学へ疾病予防と治療でグローバル補助金奨学生の派遣に努めています。

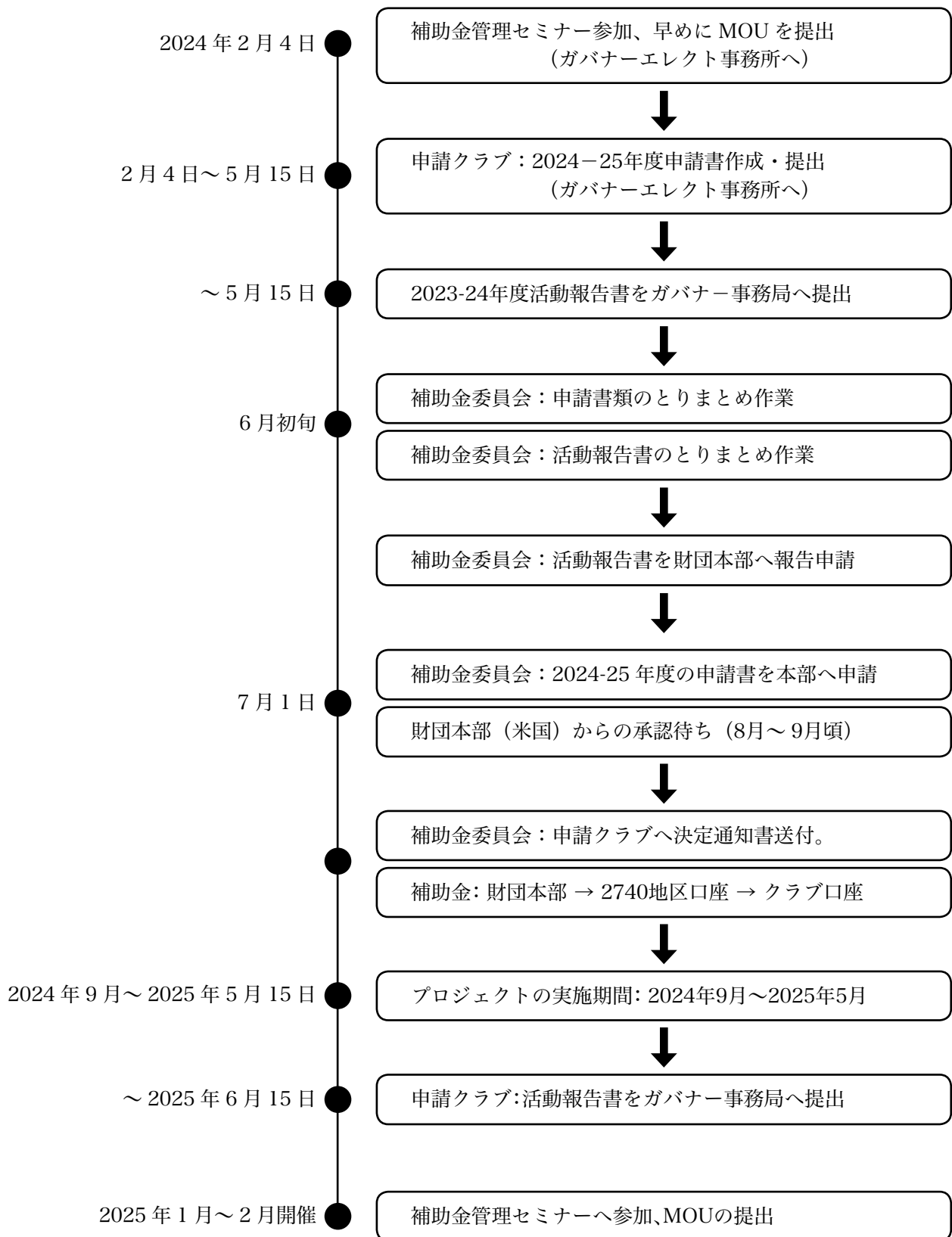
また、本年英国大学院修士課程を終え帰国した宮崎稔樹君により「大学院留学がおしえてくれたこと」というテーマで、1年間の留学経験について、すばらしい講演をしていただきました。

その後、地区補助金活動にて、タイの赤族の子ども達への多様な支援を行った岡村ロータリー財団委員長の貴重な報告もありました。

これらの有意義な時間となった地区補助金管理セミナーは、石坂エレクトの講評を受け無事、閉会しました。



2024-25 年度 地区補助金申請と報告のタイムスケジュール



2024年1月会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数			当該月			累計	
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	新入	退会		増減
第1グループ	佐賀	3	72.2	80	9	82	10	0	0	0	2
	小城	4	62.0	28	4	27	4	0	0	0	-1
	牛津	3	78.0	31	0	30	0	0	0	0	-1
	多久	3	79.4	35	6	34	6	0	0	0	-1
	佐賀大和	4	77.9	26	5	26	5	0	0	0	0
	小計		73.9	200	24	199	25	0	0	0	-1
第2グループ	佐賀西	3	70.1	41	4	41	4	0	1	-1	0
	佐賀北	3	59.7	45	3	45	3	0	1	-1	0
	佐賀南	3	71.2	44	6	45	6	0	0	0	1
	神埼	4	86.1	38	4	39	4	0	0	0	1
	佐賀空港	2	76.4	17	0	17	0	0	0	0	0
	小計		72.7	185	17	187	17	0	2	-2	2
第3グループ	有田	3	64.5	31	2	31	2	0	0	0	0
	武雄	3	74.2	42	3	43	3	1	0	1	1
	鹿島	4	91.7	30	4	30	5	0	0	0	0
	嬉野	4	84.7	26	1	26	2	1	2	-1	0
	大町	3	62.5	16	0	16	0	0	0	0	0
	太良	3	96.3	9	0	9	0	0	0	0	0
	小計		79.0	154	10	155	12	2	2	0	1
第4グループ	唐津	4	88.1	54	0	58	0	1	0	1	4
	伊万里	4	83.9	28	0	28	0	0	0	0	0
	唐津東	3	85.3	49	0	48	0	1	0	1	-1
	唐津西	4	97.1	27	0	27	0	0	0	0	0
	伊万里西	3	83.6	30	2	34	4	0	0	0	4
	唐津中央	3	93.7	35	5	34	5	1	1	0	-1
		小計		88.6	223	7	229	9	3	1	2
第5グループ	佐世保	4	79.7	71	0	72	0	1	0	1	1
	平戸	2	77.2	22	4	23	4	0	0	0	1
	北松浦	4	89.1	23	1	23	1	0	0	0	0
	佐世保西	4	76.1	23	4	22	5	0	0	0	-1
	松浦	4	86.0	25	0	26	0	0	0	0	1
	小計		81.6	164	9	166	10	1	0	1	2

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数				当該月			累計
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	新入	退会	増減	
第6グループ	佐世保南	4	100.0	61	2	60	2	0	0	0	-1
	佐世保東	3	78.9	24	0	26	0	0	0	0	2
	佐世保北 (衛星クラブ12)	3	87.8	55	5	53	4	0	0	0	-2
	佐世保中央	3	93.0	51	2	53	3	0	0	0	2
	佐世保東南	3	74.0	26	0	28	0	2	0	2	2
	HTB 佐世保	3	88.6	22	3	24	4	0	0	0	2
		小計		87.1	239	12	244	13	2	0	2
第7グループ	大村	4	78.5	40	4	40	4	0	0	0	0
	島原	4	83.6	30	3	31	3	1	1	0	1
	大村北	3	85.9	24	1	24	1	0	0	0	0
	島原南	3	57.4	14	1	18	3	0	0	0	4
	大村東	3	87.3	34	4	36	5	0	0	0	2
		小計		78.5	142	13	149	16	1	1	0
第8グループ	諫早	3	71.7	76	0	78	0	0	0	0	2
	諫早北	3	76.7	76	4	74	3	0	0	0	-2
	諫早西	3	88.5	54	3	52	3	0	0	0	-2
	諫早多良見	4	87.9	28	1	30	3	0	0	0	2
	雲仙 諫早南	2	62.5	17	5	16	5	0	0	0	-1
		小計		77.5	251	13	250	14	0	0	0
第9グループ	長崎	3	85.0	54	1	62	2	0	0	0	8
	福江	3	92.6	28	0	27	0	0	0	0	-1
	長崎北東	3	68.9	36	2	37	2	0	1	-1	1
	福江中央	4	100.0	17	1	18	1	0	0	0	1
	長崎西	4	75.3	36	1	36	1	0	1	-1	0
	長崎琴海	3	72.2	7	0	7	0	0	0	0	0
		小計		82.3	178	5	187	6	0	2	-2
第10グループ	長崎北	3	81.2	74	0	75	0	1	0	1	1
	長崎南	3	76.4	69	0	70	0	0	0	0	1
	長崎東	3	79.3	35	1	40	1	1	0	1	5
	長崎みなと	3	80.4	28	1	27	1	0	0	0	-1
	長崎中央	3	90.0	44	1	44	2	0	0	0	0
	長崎出島	3	66.2	73	9	73	10	1	0	1	0
		小計		78.9	323	12	329	14	3	0	3
	55クラブ合計		80.3	2,059	122	2,095	136	12	8	4	36

* 上記の表の新入・退会は当月中の数字で、累計は2023年7月1日から2024年1月末までの増減です。

新会員紹介

私たちの新しい仲間になりました方々を紹介します。

※氏名の下部は勤務先、役職

※今月号に掲載が間に合わなかった新会員の方のご紹介は、次号に掲載させていただきます。



武雄 RC

深町 恵介 君
西九州観光バス(株)
代表取締役



嬉野 RC

西川 潤一 君
(株)テレビ九州
代表取締役社長



唐津 RC

月俣 博 君
(株)九電工 唐津営業所
所長



唐津東 RC

鶴田 忠嗣 君
(株)鶴松造園建設
代表取締役



唐津中央 RC

中川 正幸 君
中川法律事務所
代表弁護士



佐世保 RC

境 竜馬 君
(株)深町組
常務取締役



佐世保東南 RC

森 俊之 君
フィナンシャル・ジャパン(株)
営業



佐世保東南 RC

小倉 盛義 君
(株)ビッグマン
代表取締役



島原 RC

梶原 健一 君
朝日生命 島原営業所
所長



長崎北 RC

林 万平 君
西日本電信電話(株)長崎支店
ビジネス営業部長



長崎東 RC

池田 英男 君
VIVA WORK PARTNERS(株)
代表取締役



長崎出島 RC

田崎 由美子 君
田崎由美子デザインルーム
代表

物故者

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



佐賀北 RC

宮原 和弘 君
享年 66 歳

寄付者紹介

ご厚意に深く感謝申し上げます。認証者の方を記載いたします。

ロータリー財団

種類	氏名	クラブ名
メジャードナー	駒井 英基	佐賀南
	白倉 一男	諫早北
マルチプル ポールハリスフェロー	古宇田れい子	佐賀南
	森 栄一郎	諫早北
	鳩野 誠	諫早多良見
ポールハリスフェロー	菖蒲 公治	諫早多良見
	吉田 英雄	諫早北
	鳩野 誠	諫早多良見

米山記念奨学会

種類	氏名	クラブ名
米山功労者マルチプル	川副 隆裕	佐賀南

ポリオ・ワンコイン BOX 報告

今月分 BOX 金額 **139,937 円**

合計 BOX 金額 **2,549,479 円**



私の 国際大会

国際ロータリー第2740地区
パストガバナー 安部 直樹

私がガバナーを拝命しましたが、2004～2005年度でありましたので、20年経過しています。又、ガバナー就任が56才頃で、当時、全国のガバナーの中で二番目に若いガバナーだったと記憶しています。又、ガバナー就任も地区でガバナー候補だった方が諸事情で辞退され、結果として私にガバナー職が回ってきましたので、当時としては、まさに青天の霹靂でした。その為かガバナーに対する心構えも心の準備もなく、不安いっぱいのがバナー就任だったことを覚えております。

しかし、当時2004年の大阪大会に参加し、熱気あふれる会場の雰囲気、そしてこの会場の全ての人々がロータリーの理念に共鳴をした私の同朋だと感じ得た時、初めて勇気と意欲とやらなければならないという使命感が彷彿として湧き上がってきたのを昨日のように感じます。ロータリーは、世界中120万人が我が友人としていることを忘れないでください。



編集後記

入学式、入社式など、新生活がスタートする4月です。ロータリーにおいても次年度の準備を進めておられることかと思えます。次年度の地区補助金事業の申請の締め切りは5月15日となっています。新たな気持ちで、地区補助金事業について考えてみてはいかがでしょうか。

国際ロータリー第2740地区
ガバナー事務所

〒857-0874 佐世保市京坪町2-3 Nビル2階
TEL 0956-80-3148 FAX 0956-80-3164
E-mail ri2740ogata@beatsc.jp
URL <https://rotary2740.jp/>

WEBサイト▶

